

令和8年2月11日

特定非営利活動法人  
日本デフバスケットボール協会  
会員の皆様へ

特定非営利活動法人  
日本デフバスケットボール協会  
理事長 佐知樹一郎

## DIBF レフェリー制度および ワールドレフリークリニック申請手続きについて (お知らせ)

日本デフバスケットボール協会（JDBA）では、国際デフバスケットボール連盟（DIBF）が実施するレフェリー育成およびライセンス制度に関し、日本国内における申請手続きおよび運用方針を以下のとおり定めます。

これまで、JDBAを通さずにDIBFへ直接連絡や申込が行われた事例が確認されており、DIBFおよび各国連盟との情報共有や調整に支障を来す場合がありました。

そのため、今後の混乱防止および運用の明確化を目的として、本協会における申請手続きを明確に定めます。

本制度は、DIBFが国際バスケットボール連盟（FIBA）および各国デフバスケットボール連盟と連携し、国際大会で活躍できるデフバスケットボール審判員（以下「レフェリー」）の育成や認定を目的として実施されているものです。

### 1. DIBF レフェリーライセンス制度について

DIBFのレフェリーライセンスは4年周期で発行され、有効期間は 每年9月1日から8月31日までとされています。

#### <競技区分>

DIBF レフェリーライセンスは、以下の競技区分により分類されます。

- ・ 5人制レフェリー
- ・ 3x3 レフェリー
- ・ 5人制および3x3両区分対応レフェリー

※本協会では、競技規則および国際基準に基づき、「3x3（スリー・エックス・スリー）」の表記を使用します。3x3（スリー・エックス・スリー）とは、FIBAが定めた世界統一ルールに基づく3人制バスケットボール競技を指します。

## 2. ライセンス区分 (D I B F)

- ・ A ライセンス (G o l d)

デフリンピックおよび世界選手権（男女）を担当

地域選手権、ユース選手権等での複数大会の担当実績が必要

- ・ B ライセンス (S i l v e r)

地域選手権、ユース選手権、クラブチームによる国際大会等を担当

国際経験を積むためのエントリーレベルライセンス

## 3. ライセンス取得要件

D I B F レフェリーライセンス取得にあたっては、以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ・ 各国のデフバスケットボール連盟からの推薦を受けること
- ・ D I B F レフェリー育成プログラムを修了すること
- ・ 理論試験、フィットネス、メディカルチェックに合格すること
- ・ F I B A 認定インストラクターによる実技評価を受けること
- ・ 国際手話テストに合格すること
- ・ 高い専門性および倫理観を維持すること

## 4. 日本における申請手続きについて（最重要）

D I B F の規定により、すべての申請は、各国のデフバスケットボール連盟を通じて提出する必要があります。また、本件については、D I B F 側においても、各国連盟を通じた申請手続きを徹底する必要性が認識されており、運用の統一および混乱防止の観点から整理が求められている事項です。これを踏まえ、日本においては以下を必須条件とします。

- ・ 日本デフバスケットボール協会（J D B A）の会員であること
- ・ J D B A を通じて、D I B F へ申請を行うこと
- ・ ワールドレフェリークリニックおよびD I B F レフェリーライセンスに関するすべての申請、連絡、調整は、原則として J D B A が公式窓口となります。

## 5. 注意事項（遵守事項）

J D B A を通さずに行われた申請や連絡については、協会として把握や対応できない場合があります。また、協会の定める手続きに反して行われた行為が確認された場合には、処分等の対応を検討することがあります。

## 6. 規程との関係について

本件に関する対応は、当協会の定款および処分手続規程に基づき行われます。

## 7. お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは、日本デフバスケットボール協会（J D B A）事務局および育成委員会 審判部会までお願ひいたします。